

令和2年度 1学期始業式 式辞

校長 田村 嘉則

6月となり、やわらかな初夏の日差しが心地よい本日ここに、令和2年度第1学期始業式を行えることは、感慨深い、大きな喜びであり、今日を迎えられたことに、保護者、地域の皆様、そして本校職員一人一人に感謝を申し上げます。

飯沼中学校の生徒のみなさんに、改めて自己紹介します。私は、4月1日より本校の校長として来ました。田村 嘉則と申します。みなさんの学び多き、充実した学校生活に全力を注ぐことをお約束いたします。

分散登校や放送による始業式は、私の教員人生の中でも初めてのことですが、どうしてこのような形をとっているのかは、みなさんよく知ってのことだと思います。いま世界中で、新型コロナウイルスとの戦いが繰り広げられ、それぞれの立場で、仕事の仕方を変えたり、家で学習をしたり、ゴールデンウィークも不要な外出を自粛したりと、我慢をする毎日が約3ヶ月間続きました。

昨日をもって、臨時休業日が終了し、今日から本当の意味での1学期が始まります。飯沼中学校の生徒諸君にとっては、待ちに待った学校の再開だと思います。

しかし、まだ新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。効果の実証された新薬が開発されたわけではなく、私達の体内に抗体ができたわけでもありません。ニュースで報道される感染者の数がこのところ減少しているのは、みなさんがステイホームを守り、周囲との接触を断ったために、その効果が出たに過ぎません。新型コロナウイルスは、知らない間に感染し、持病を持っている人やお年寄りなどが感染すると、命を落とすことも少なくない大変恐ろしいウイルスです。そこで、この飯沼中学校が感染の場となることだけは、何としても防がなければならないことであると考えます。そこで、しばらく間は、毎朝体温を測り、マスクを着用し、こまめに換気をしたり、人との距離をあまり近くならないように意識したり、うがいや手洗いを休み時間のたびにするなど、自分で自分の身を守ることが大切だということをしっかり自覚をして生活してください。そうすることが大切な家族をも守ることにもつながるということも忘れないでください。

さて、今日から学校が始まるわけですが、みなさんには、今回の休校をとおして、改めて学校とは何なのかということを考えてほしいと思っています。

毎日、学校に行けば、友達や先生に会える。クラスの仲間と授業を受け、休み時間には楽しいおしゃべりをしたり、遊んだりもする。放課後は部活動で汗を流したり、作品を作ったりします。しかし、目に見えない小さなウイルスによって、この当たり前とっていた学校生活がストップさせられてしまいました。当たり前前の学校生活が当たり前でなくなってしまったのです。

先生や仲間と共に授業で学び、休み時間を過ごし、部活動を行うという学校生活は、実は、健康で安心・安全な生活の上に成り立っていたのです。また、学校に通わせてくれる保護者、交通安全を見守って下さる地域の方々、そして休校中も君達の健康を気かけ、学習の遅れを心配し、たくさんのプリントや課題を作ってくださったり、一軒一軒に電話をかけてくださった飯沼中の先生方など、数えきれないほどのおかげ様で君達の当たり前とっていた学校生活は成り立っていたのです。

今回のコロナウイルスの件で、そのことを改めて考え、感謝する機会としてください。また同時に、地域の方々への元気なあいさつやボランティア活動などに今まで以上に取り組んでください。そして、今まで以上に学校での生活を一生懸命に送ってください。1年生の生徒諸君については、はじめは戸惑うことがいくつもあるかと思いますが、そんな時は、先生方に遠慮なく相談してください。2、3年生の先輩方も君達を歓迎し、力になってくれます。一日も早く、飯沼中学校での生活に慣れ、様々な面で学び多き学校生活を送ってください。また、2、3年生の生徒諸君は、仲間や先生方と力を合わせて、飯沼中学校の新たな歴史を作り、それが伝統となるよう精一杯、学校生活を送ってください。特に3年生の生徒諸君については、オリンピックが延期となり、高校の全国大会が中止になったというニュースを耳にしたことと思いますが、中学校でも運動部の全国大会、関東大会、県大会、そして市内予選もすべて中止となりました。これまで仲間と共に汗を流し、力を合わせて作り上げてきた部活動であることを考えると、大変残念な気持ちです。しかし、残念ではありますが、自分や仲間、そして大切な家族の命や健康と比較をすれば、今回の中止は仕方のないことです。迷う余地はありません。みなさんは試合に出場したり、試合に勝ったりするためだけに、部活動をしてきたのではありません。きっと練習は辛いことが多かったとは思いますが、なぜ続けられたのでしょうか…。それはまず第一に、その競技が好きだったこと。野球が嫌いな者が野球部には入りません。好きな野球は、この先の長い人生

で、いくらでもすることが出来ます。次に、なぜ辛い練習が続けられたのかの二つ目の理由は、共に汗を流し、切磋琢磨する仲間がいたからです。仲間と励まし合いながら、辛い練習を乗り越え、レベルアップしていく喜びは、決して一人では味わえない喜びです。これらの経験を踏まえ、部活動を通して、人間として成長すること、それこそがまさに部活動をする意義なのです。これからの長い人生、様々なことが自分の身に降りかかってきても、しなやかに受け止め、そして強く生きていくことのできる力を養うことが最大の目的なのです。大会が中止になっても、下を向くことなく、堂々と胸を張り、「部活動を頑張ったから今の自分があります。これまでありがとうございました」と、お世話になった顧問の先生や共に汗を流した仲間、そして、いつも支えてくれた家族の方にお礼が言えれば、それこそがこれまで部活動で培った人間性の証なのです。

学校とは、感謝の気持ちを忘れずに、たくさん学び、たくさん汗をかく、嬉しい所と、私から生徒諸君に言葉を送ります。いま「嬉しい」という言葉を使いましたが、「楽しい」ではありません。ゲームをして楽しいとは言いますが、ゲームをして嬉しいとは言いません。楽しいというのは表面的、一時的なものです。嬉しいとは心の喜びのことです。学校が再開して嬉しかった、友達に親切にされて嬉しかった、先生に褒められて嬉しかったなど、心から思う喜びのことです。もう一度言います。

学校とは、感謝の気持ちを忘れずに、たくさん学び、たくさん汗をかく、嬉しい所です。

少し遅れて始まった学校ですが、生徒諸君一人一人が今、心に抱いている、新鮮でやる気に満ちた気持ちを大切にしてください。今まで過去にどんなことがあったかなんて関係ありません。本校の先生方は、それぞれのキャラクターでみなさんを全力で応援します。今日から、今ここから気持ちを前向きに変え、飯沼中学校で思い切り青春してください。

令和2年6月1日 春日部市立飯沼中学校長